

## 本音の合意形成を積み上げながら、本人と共に安心・安全な地域をつくる

～校区住民主体のNPO法人を設立し、医療・介護事業者・行政も一緒に進む～

\*大牟田市では、話し合いにより、2016年より「徘徊」という用語を使用していませんが、それ以前の事業等については当時の用語で資料等に記載してあります。

福岡県 大牟田市

大牟田市 中央地区 地域包括支援センター  
(元小規模多機能型居宅介護 ひだまり 管理者)

木村 薫

医療法人静光園白川病院 医療連携室長

猿渡進平

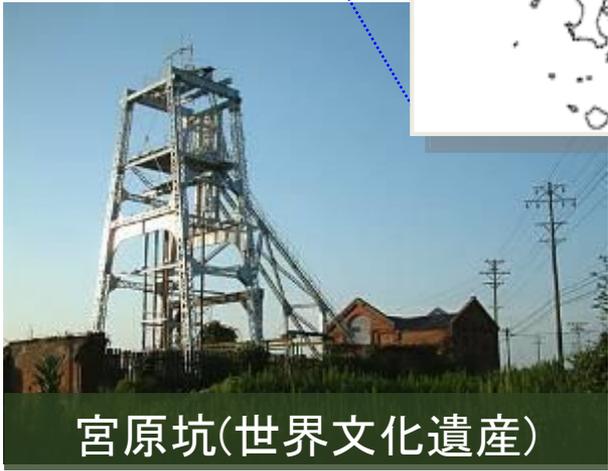


# 福岡県大牟田市の概況

～やさしさとエネルギーあふれるまち・おおむた～



かつては炭鉱のまち  
(平成9年三池炭鉱閉山)  
今、大牟田は  
人にやさしいまちへ



- 大牟田市の人口  
約210,000人 (1960年) ⇒ 115,803人 (2018年4月)
- 高齢者数  
高齢化率 35.7%
- 世帯数  
高齢者のいる世帯 30,364戸 (45.3%)  
高齢者単身世帯数 14,171戸 (24.8%)
- 面積 81.45m<sup>2</sup>
- 公立小学校区数 20小学校区
- 公立中学校区数 8中学校区
- 地縁組織加入率 47.8%

\* 2017年現在

福岡県大牟田市

宮原坑(世界文化遺産)

# 医療法人 静光園 白川病院 概要

## ◆ 診療科

内科・リハビリテーション科・放射線科

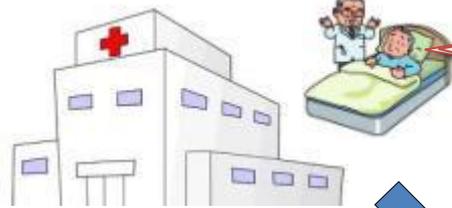
## ◆ 病床数及び内訳

218病床

一般（障害者）60床、医療療養病床 60床  
介護療養病床 60床、地域包括ケア病棟 38床

## ◆ 患者平均年齢

85.7歳



- ・ 子供達との思い出がいっぱい詰まった家に帰してください。
- ・ 夫にお線香をあげないと申し訳ない。

※ 本人の「自宅に帰りたい」という意思があっても実現できない場合が多い

不本意

「本人“力”」「家族“力”」「介護・医療支援“力”」に  
「**地域“力”**」が加われば  
住み慣れた家（環境）で生活することができないのか？



# 認知症SOSネットワーク模擬訓練

「ほっと安心ネットワーク」とは・・・

○警察署を事務局とし、企業や団体等で構成する「大牟田地区高齢者等SOSネットワーク」

○介護事業所や医療機関等で構成する「生活支援ネットワーク」

○小学校区ごとの町内公民館や民生委員等で構成する「地域支援ネットワーク」

## 目的



1. 認知症の人と家族を支え、見守る地域の意識を高め**認知症の理解**を促進していく
2. 高齢者を隣近所、地域ぐるみ、多職種協働により可能な限り、声かけ、見守り、保護していく**実効性**の高いしくみの充実
3. 認知症になっても安心して暮らせるために、**「安心して外出できる町」**を目指していく



# 訓練に向けた取り組み

## 校区実行委員会の設立

声かけ訓練や情報伝達網の再整備、認知症サポーター養成講座など必要となる取り組みについては、各校区それぞれにおいて検討を進め、訓練当日に先立つ準備として各校区で事前を実施する。

### 実行委員会メンバー（校区によってメンバーは異なる）

- 民生委員・児童委員協議会
- 校区町内公民館連絡協議会
- 校区社会福祉協議会
- 地域の医療、介護事業所(事務局)
- 地域包括支援センター
- 認知症ライフサポート研究会運営委員
- 大牟田市長寿社会推進課

# 第1回 認知症SOSネットワーク 模擬訓練 in しらかわ



事前の  
認知症  
学習

## 【開会式】

実行委員が中心に事務局に集合し開会式(認知症サポーター養成講座・声掛けの方法・道に迷った方を見つけた際の連絡先等)を実施。その後、徘徊役に対し、声をかける。  
\*連絡網無し。啓発メイン。

開催日：平成19年9月23日(日)  
参加者：9名  
外出役：1名  
訓練結果：2時間歩き1件の声掛け



訓練の  
実施  
状況

地域ふれあいフォーラムinしらかわ  
～とんとんとんからりと隣～

白川校区  
社会福祉協議会

白川校区  
公民館連絡協議会

白川校区  
民生児童委員連絡協議会

地域の中での支え合いや  
ネットワークの必要性について検討

白川校区  
しらかわ生き生きクラブ

白川校区  
老人クラブ

中央地域包括支援センター

医療法人 静光園  
地域交流センターしらかわ

任意団体  
白川ふれあいの会

① 現実に目を向け“他人事”から“自分事”へ

② 新たな組織が加わり事業が活発化

# 第2回 認知症SOSネットワーク 模擬訓練 in しらかわ

開催日：平成20年11月9日(日)

参加者：87名

徘徊役：6名

訓練結果：2時間歩き35件の声掛け



平成20年11月11日(火)

# 防げ徘徊 声かける勇気を



大牟田 23全校区で模擬訓練

地元の女性に話しかける徘徊者  
役の女性(右) 大牟田市内

OSネットワーク」から各校  
区に情報が流れた。  
市の中心部から約2キロ北西  
の白川校区では、市内で最も  
多い6人の徘徊者が住宅地を  
歩き始めた。

認知症に対する理解を深  
め、安心して暮らせるまちづ  
くりを進めようと大牟田市で  
9日、徘徊模擬訓練があつ  
た。04年に始まって5回目と  
なる今年は、市内の23全校区  
に「徘徊役」が登場、市民と  
言葉を交わす回数も昨年の4  
倍近い333件に増えた。た  
だ、市民からの声掛けは少な  
く、認知症の専門家は「市民  
が一步踏み出して声をかける  
勇気が必要」と課題を指摘し  
た。

軽い認知症の76歳の女性が  
自宅を出たまま行方不明、と  
の家族から警察への届け出で  
訓練は始まった。「茶色の上  
着、黒のスボン、白いスック。  
帽子に黄色い子ども用傘」。市  
内の各団体でつくる「徘徊S

たのは、同年配の女性に「こ  
こは福岡でしょうか」と聞い  
たとき、女性は驚いた様子で  
「福岡に行くには電車に乗っ  
て…」と聞いて、近くの知人  
の家に相談に行こうとした。  
たまたま帰宅した知人が「こ  
の人は訓練」と教えて、女性  
はほっとした表情になった。

約2時間の訓練でこの徘徊  
役が言葉を交わしたのは5  
回。うち市民から自発的に声  
をかけたのは1件もなかつ  
た。自転車女性と女の子  
も、実は訓練を支援する人が  
「おはあちゃんがおかしい」と  
声掛けを頼んだものだった。

結局、白川校区で6人の徘徊  
役が市民と言葉を交わした  
のは35件。うち24件は徘徊役  
の声をかけたもので、市民  
からは11件だった。訓練後の  
講評で大牟田市認知症ケア研  
究会の竜岡誠運営委員が「市  
民も庭先から徘徊者を見てい  
るだけでなく、外に出て声を  
かける勇気を持ってほしい」と  
指摘した。(田中良和)

結局、白川校区で6人の徘徊  
役が市民と言葉を交わした  
のは35件。うち24件は徘徊役  
から声をかけたもので、市民  
からは11件だった。訓練後の  
講評で大牟田市認知症ケア研

# 模擬訓練を通して見えてきた課題

○地域住民の方からの

自発的な声かけは35件中11件だった



\*実績としては昨年と同様

○住民間の関係の希薄さが浮き彫りに



○普段から隣近所へ関心を持ち

互いに気軽に声かけできるような

関係づくりが大切

# 第4回地域ふれあいフォーラムinしらかわ

～ 認知症の人が安心して暮らせる地域とは？ ～

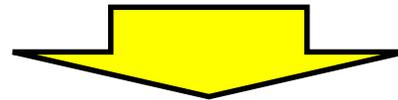
開催日：平成21年3月29日

1. 講演 「認知症の人が地域で生ききる」を支えるために  
認知症介護研究・研修東京センター 永田 久美子 氏
2. 実践報告 (1) 「認知症模擬訓練inしらかわ」から見えてきた課題  
(2) 認知症になった親を自宅で介護した体験話  
～家族力、地域力、行政力を通して～
3. 意見交換 認知症になっても「白川校区」で安心して暮らし続けるためには



# 意見交換を実施して

住民同士が知り合い、関係性を作る為に  
地域での「ふれあいの場所」をつくる。



- ・隣り近所の付き合いをベースに情報を広げる。
- ・本人の地域での繋がりを保つ関係づくり。
- ・「認知症」を地域で公言できる関係づくり。



○地域住民間の「交流の場」や  
「悩み相談所」「ネットワークの拠点」として



**サロン(たまり場)が必要**

# サロンの開設のポイント

・サロン(たまり場)

自宅



自宅から歩いていける距離に設置する。

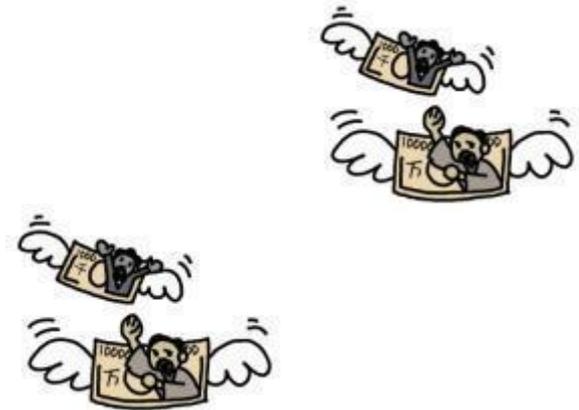
しかし!

サロン等の開設には

お金がかかる!

契約は誰がするのか!?

- サロンの開業資金、運転資金
- ボランティア保険への加入
- 継続的な事業開催費



などを確保しなくてはならない。

# NPO法人の立ち上げ

## 3点の問題から法人格取得



### ① 社会的信用獲得

- ・空家の契約とボランティアの提供

### ② 自主財源確保による連帯感と目的

- ・目標に到達するという契機と資金の透明化

### ③ 継続性、自主性を持たせる為の組織化

- ・責任感の獲得と入りやすさ

# NPO法人 しらかわの会 設立総会 開催

- 開催日:平成21年11月15日
- 出席者:54名



## 審議内容:

- ① 設立趣旨に関する件
- ② 事業計画等について
- ③ 役員を選任について
- ④ 設立代表者の選任について など

NPO法人 しらかわの会  
設立総会会場  
平成二十一年十一月十五日 九時受付

# NPO法人設立総会 集合写真



# 「NPO法人 しらかわの会」の活動計画

## 基本目的

高齢者、障害者等の世帯を対象に個別訪問を実施し、家事支援及び生活相談に応じ自宅で安心して生活できるように支援する。また安心して住める町づくりを目指す為、環境整備や安全確保を重点に地域の活性化に寄与する。

事業名	具体的内容	実施予定
・日常生活支援事業	・個別訪問による買い物、付き添い、清掃、庭木の手入れ、相談支援等 ・サロン事業	随 時
・環境美化部会	・堂面川河川敷清掃 ・地域内の清掃活動	1回／年 1回／年
・安心、安全部会	・防犯灯及び危険箇所点検 ・地域広報誌発行	2回／年 随 時
・こども部会	・通学路点検 ・学校諸行事の支援 ・こどもの居場所づくり ・障害児の登下校支援	2回／年 随 時
・自治体及び他団体の支援事業	・認知症SOS模擬訓練 ・白川まつり	1回／年 1回／年

# ①日常生活支援事業

# 1 高齢者や障害者の日常生活相談及び家事支援事業 (日常生活支援部会)



庭木の手入れ



庭の掃除・草刈り

NPO法人 しらかわの会

## 日常生活で何かお困りことはありませんか？

- ◇ 玄関先や庭などの除草作業
- ◇ 蛍光灯の交換などの高い所の作業
- ◇ 家具など重い物の移動
- ◇ 退院時の家の掃除
- ◇ 簡単な家具や器具の組み立て  
...など

白川校区にお住まいの高齢者世帯、障がい者世帯を対象としております。

**利用料は無料**  
(材料費がかかる場合は依頼者様負担でお願いします)

しらかわの会  
事務局へ申し込み ☎ 53-4191 (または馴染みの民生委員さんへ連絡)

↓

事前に打ち合わせにお伺い致します。  
お手伝いできる範囲を話し合いましょう！！  
(内容次第では難しい場合もございます)

私達NPO法人しらかわの会は、白川校区の皆さまが住み慣れた地域  
でいつまでも安心して暮らし続けていくために、全力でお手伝いをさせて  
いただきます！  
まずは事務局または馴染みの民生委員さんまで気軽に相談ください。

NPO法人 しらかわの会

〒837-0926 福岡県大牟田市上白川町1-246 (地域交流センターしらかわ内)  
TEL 0944-53-4191 FAX 0944-56-1091  
E-mail shirakawanokai@yahoo.co.jp



引っ越し



通院の付き添い

サロン部会

わくわくサロン しらかわ

場 所 : 小学校の空部屋を使用





指導を受け、改修工事を行う学生

# 空き家を交流の拠点へ

居住支援  
協議会  
活用目指し改修工事

大牟田

大牟田市居住支援協議会(西村直会長)の空き家活用プロジェクトの一環として十二日、同市上川町の民家の改修を実施。この日は有明工業高等専門学校(有明高専)の学生、市社会福祉協議会や工務店が連携して、空き家となつている民家を地域住民の交流拠点、サロンとして活用することを目指して改修工事を行った。同協議会は高齢者、障害者、低所得者、子育て世帯など、住宅を確保するのが難しい人の民間賃貸住宅などへの円滑な入居を推進しようとして平成二十五年六月に設立。不動産、福祉・医療、法律、行政、学識経験者などで構成している。

市内に多数ある状態のよい空き家を居住用だけでなく、サロンとして地域の交流拠点として活用し、地域に貢献しようと考えている。これまで、空き家実態調査をはじめワークショップも開催して活用策を話し合い、その方

法を探ってきた。今回は所有者の承諾を得てモデル事業の実施のため、改修工事に取り組んでいる。改修が行われているのは築三十年の木造一階の民家。一階の台所、リビング、縁側や二階を改修。将来的には二階は居住スペースとして活用も視野に入れているという。秋ごろの完成を目指して、工事終了後は地域福祉活動を展開しているNPO法人しらかわの会が地域住民が交

流を図る拠点、サロンとして利用する予定。この日は有明高専、市社協、地元工務店が連携して改修工事を実施。有明高専の学生たちは指導を受けながら傷んだ床の改修などに取り組んだ。

同高専建築学科五年の福田しおりさんは「建物が生まれ変わるという現場に立ち会えて非常にうれしい。きちんと改修工場のして、立派に使われてほしいと話した(小柳悠)





第4弾

# 田崎の男飯

俺が作るとは何でんうまかとばい！！  
うまか焼酎ばいっばい用意しとるけん飲み  
にこんね！！



17:30~18:00  
総会を開催します。  
サロン田崎をご利用されている方はご出席ください。

日時 **7月21日** (木)  
18時~20時頃

会費：男性 **1,500円**  
女性 **700円**  
(お飲物・お食事代込み)

場所：サロン田崎  
大牟田市上白川町2-61



お問い合わせは  
NPO法人しらかわの会 ☎ 53-4191 担当：同  
(地域交流センターしらかわ内)





地域住民の趣味の延長線上に、個人の“地域での役割”や“自身の存在感”が醸成  
↓  
個人の健康づくり、介護予防

# 医療機関、介護施設として

“利用者”と“地域”との連携

インフォーマルを中心とした支援

# 病院から退院する患者の 退院前訪問指導

\*地域の繋がり合いの復元

本人

インフォーマル

別居家族

フォーマル

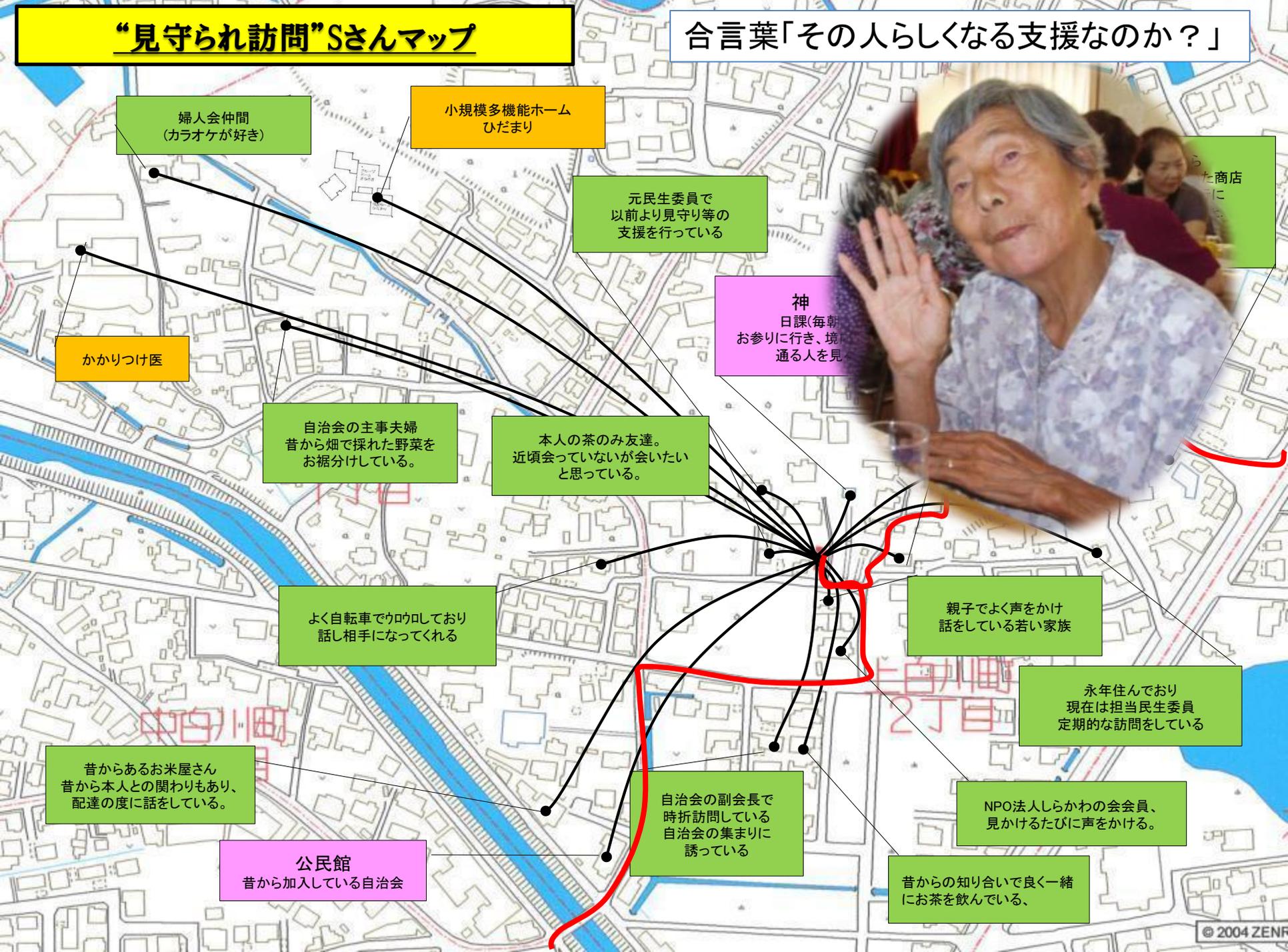


# 地域に暮らす認知症高齢者の支援会議



# “見守られ訪問”Sさんマップ

## 合言葉「その人らしくなる支援なのか？」



婦人会仲間  
(カラオケが好き)

小規模多機能ホーム  
ひだまり

元民生委員で  
以前より見守り等の  
支援を行っている

かかりつけ医

自治会の主事夫婦  
昔から畑で採れた野菜を  
お裾分けしている。

本人の茶のみ友達。  
近頃会っていないが会いた  
と思っている。

神  
日課(毎朝  
お参りに行き、境  
通る人を見

よく自転車でウウウとしており  
話し相手になってくれる

親子でよく声をかけ  
話をしている若い家族

昔からあるお米屋さん  
昔から本人との関わりもあり、  
配達の際に話をしている。

公民館  
昔から加入している自治会

自治会の副会長で  
時折訪問している  
自治会の集まりに  
誘っている

永年住んでおり  
現在は担当民生委員  
定期的な訪問をしている

NPO法人しらかわの会会員、  
見かけるたびに声をかける。

昔からの知り合いで良く一緒  
にお茶を飲んでいる、



その人“に”何が出来るか？ ⇒ その人“と”何が出来るか？

# 大牟田愛情ねっと【高齢者SOSネットワーク情報】

〔所在不明者情報〕

【氏名】：

【年齢】：

【性別】：女性

【住所】：大牟田市

【所在不明発覚時の時間】：8月25日 午後6時30分頃

【服装】：上下白色のパジャマ（柄あり）、草履、つば広の帽子

【身体的特徴】：身長150センチメートル、体重42キログラム。4点杖で脚を引きずって歩かれる。黒髪、短髪。

【認知症の有無】：有（名前は言える、連絡先は言えない）

【行方不明歴の有無】（羽山台のマミーズ、自宅周辺）

本人の写真

# 今村さんを地域の中で見守るための検討会議



# 模擬訓練inしらかわ 実施結果



	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度 (2回)
外出役	1名	6名	20名	26名	26名	26名	26名	50名	26名	13名
参加者	9名	87名	240名	165名	167名	162名	185名	232名	192名	202名
声かけ	1件	35件	361件	247件	268件	317件	299件	492件	304件	151件

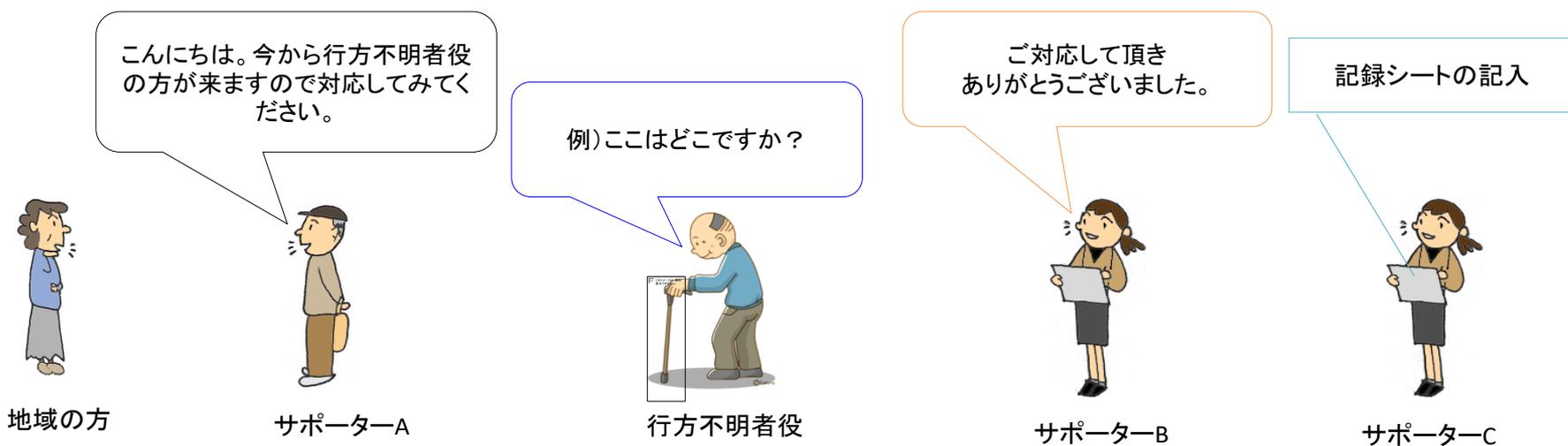


啓発重点型



情報  
伝達

# 行方不明者役・サポーターの役割

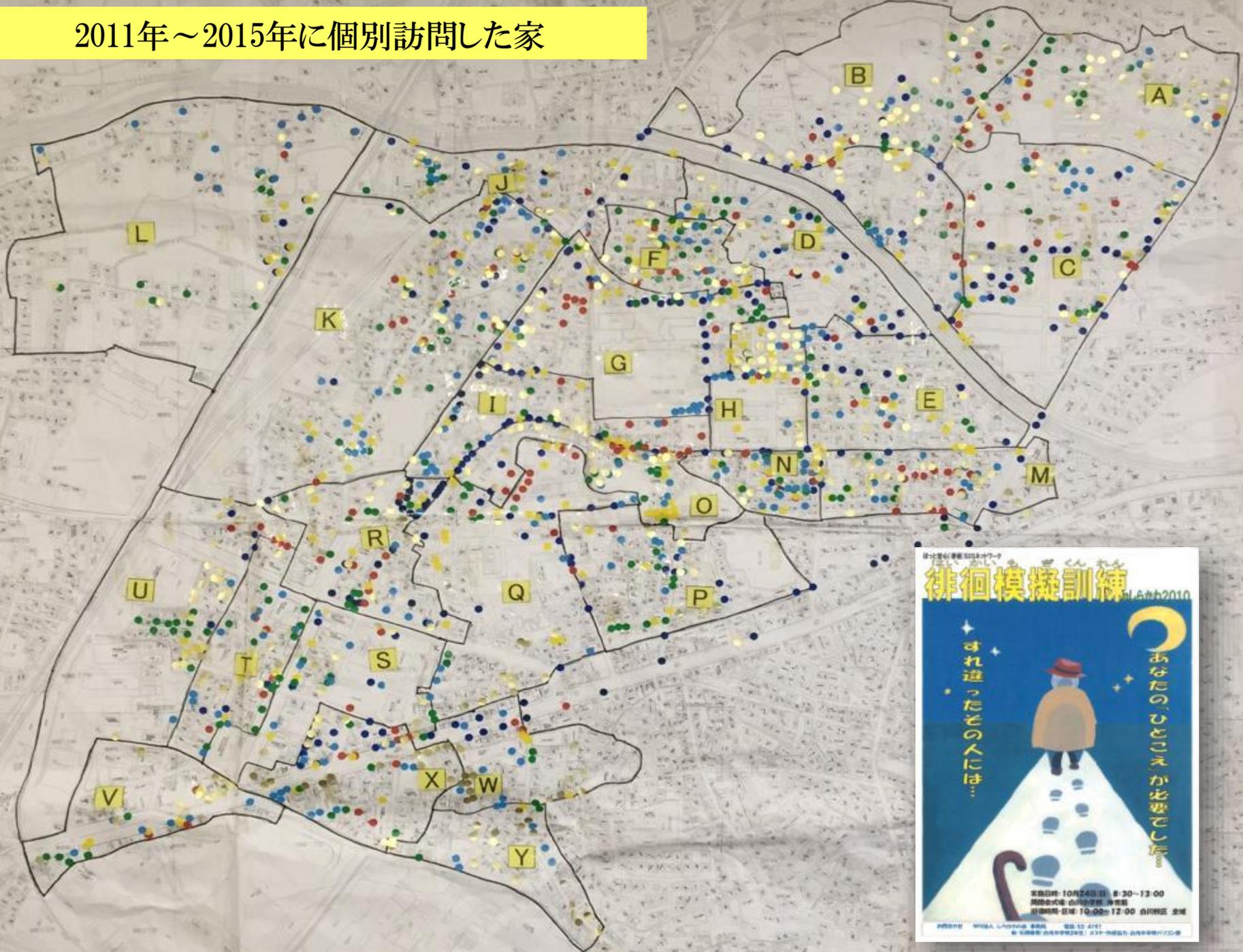


・それぞれに、記録や行方不明者役のフォローなどの役割を持つ。

# 模擬訓練inしらかわ2014



# 2011年～2015年に個別訪問した家



排徊模擬訓練

あなたのひとこえが必要でした

すれ違ったその人には...

実施日時: 10月24日(日) 8:30-13:00  
開催形式: 合同研修会(浄霊班)  
研修時間: 10:00-12:00 自衛隊 全隊

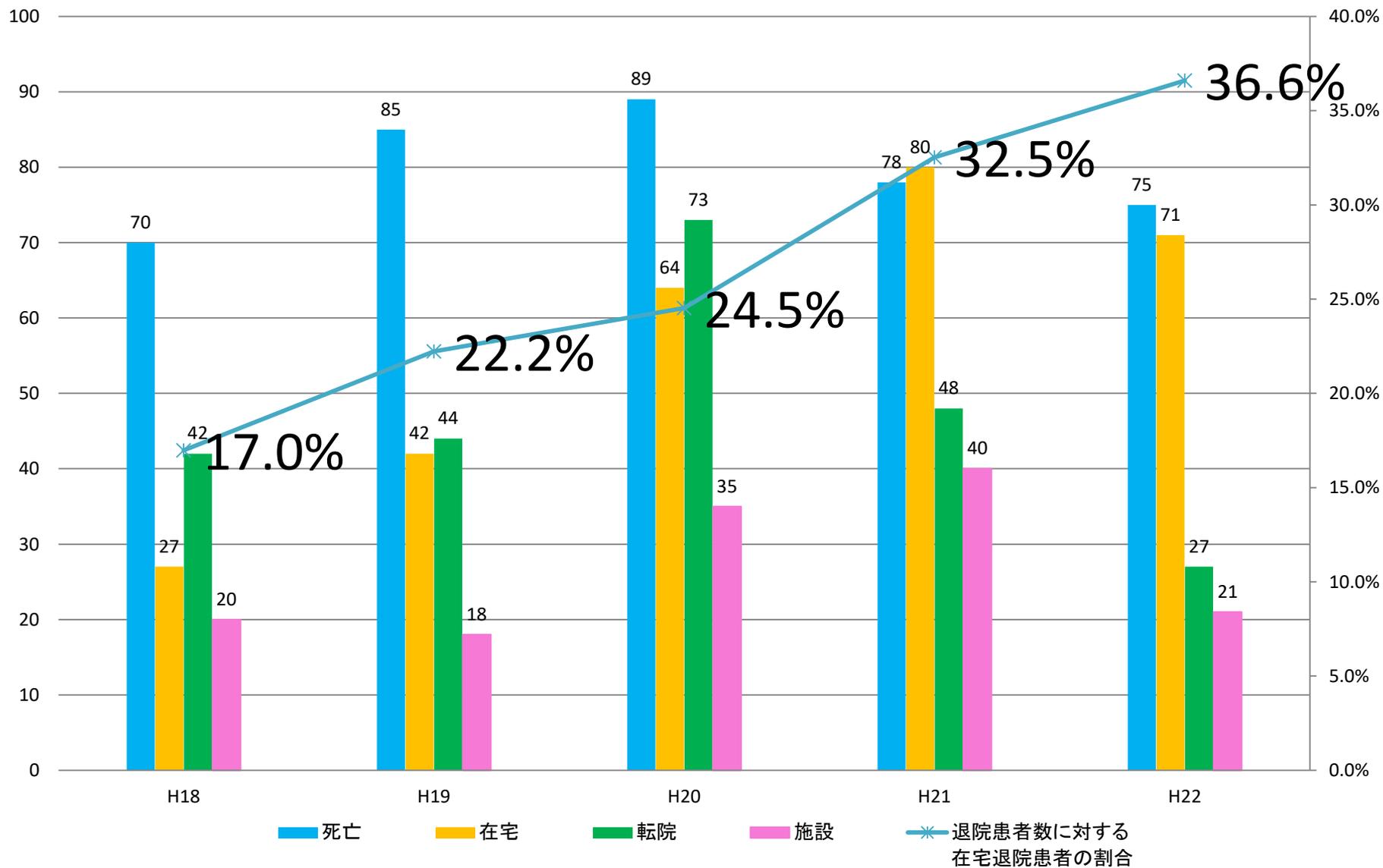
〒990-0001 山形県山形市山形 022-232-4111  
山形県立山形大学 山形県立山形大学 山形県立山形大学

# 2014年認知症SOSネットワーク模擬訓練inしらかわ スタッフ 集合写真





# 静光園 白川病院 在宅復帰率



# 大切にしていきたいこと(きたこと)

医療も介護も、行政も、立場を超えて  
いろんな人が溶け込みながら  
本音で語り合える空間をつくり  
ワクワク新しいことに取り組む。

一人一人が主人公になり、  
この地で暮らす人たちと  
自分らしく暮らせる地域をつくる。